

平成30年度(2018年度)

管理事業名	総合福祉会館事業				総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第4節 地域での暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費	(目) 10 総合福祉会館費
部局名	福祉部	予算執行所属		総合福祉会館		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
一般事務事業 施設管理事業 福祉活動の場提供事業						
事業の目的と概要	高齢者、障がい者、母子、福祉等の関係団体に対し、貸館等で活動の場を提供します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
延べ利用者数	人	80,475	80,212	73,610	総合福祉会館の会議室等の延べ利用者数
成果の説明	総合福祉会館は、3センター機能(高齢者福祉・障がい者福祉・母子福祉)を有し、それらを対象とした事業(市主催事業及び各種団体主催事業)を行っているため、公共性の高い施設となっています。また、会議室等は、関係福祉団体等の福祉活動の拠点として使用されています。平成30年度は、天候等の影響により屋上広場の利用が減っており、延べ利用者数は減少しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,820	1,202	1,180	△22
経常収入 小計(a)	1,820	1,202	1,180	△22
給与関係費	38,589	37,613	45,152	7,538
物件費	64,307	65,065	66,478	1,413
維持補修費	18,583	12,876	13,472	596
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,358	1,972	28	△1,944
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	36,685	46,630	46,598	△32
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,719	2,287	3,527	1,240
退職手当引当金繰入額	2,197	188	11,516	11,328
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	166,438	166,632	186,770	20,139
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△164,618	△165,429	△185,590	△20,161
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△164,618	△165,429	△185,590	△20,161
一般財源充当額	282,988	121,838	147,418	25,580
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	118,371	△43,591	△38,172	5,419

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬
物件費	保安・清掃・警備業務委託料 39,066千円(2,696千円) 光熱水費 13,052千円(△1,441千円) 消耗品費 2,779千円(△1,215千円)
維持補修費	・修繕料 6,968千円(△5,908千円) ・工事請負費 6,504千円(+6,504千円)
負担金・補助金・交付金等	・弁護士報酬が発生しなかったことによる減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,316	1,202	1,180	△22
行政サービス活動支出	130,400	123,041	131,182	8,141
行政サービス活動収支差額	△129,084	△121,838	△130,002	△8,164
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	153,904	-	17,416	17,416
投資活動収支差額	△153,904	-	△17,416	△17,416
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△282,988	△121,838	△147,418	△25,580
一般財源充当額	282,988	121,838	147,418	25,580
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 行政財産目的外に伴う光熱水費等1,180千円 (投資活動支出) 温水ヒーター改修工事等17,416千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりにかかるコスト	平成28年度	80,475 人	2,068 円	総合福祉会館利用者1人あたり2,537円のコストがかかっています。
	平成29年度	80,212 人	2,077 円	
	平成30年度	73,610 人	2,537 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,287	3,527	1,240
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,287	3,527	1,240
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	1,840,011	1,810,829	△29,182	固定負債	28,144	35,895	7,750
土地	1,011,024	1,011,024	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	828,987	799,805	△29,182	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	28,144	35,895	7,750
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	504	504	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	30,431	39,421	8,990
有形固定資産	-	-	-	純資産	1,810,084	1,771,912	△38,172
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,840,515	1,811,333	△29,182	純資産の部合計	1,810,084	1,771,912	△38,172
				負債及び純資産の部合計	1,840,515	1,811,333	△29,182

Ⅲ 財務構造分析

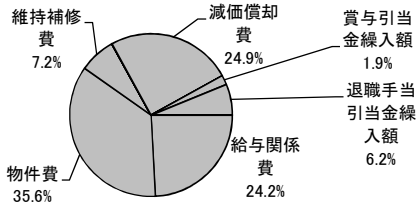
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	
事業従事人数	5.4人	1人	224日		人
給与関係費等	54,954千円	3,549千円	1,692千円		千円
内、時間外勤務手当	155千円				千円
					合計(千円) 60,195

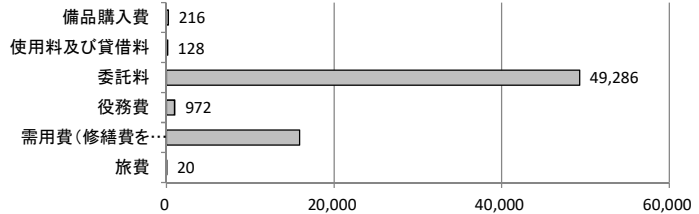
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	建物・工作物の減価償却による減 29,182千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立総合福祉会館
取得年月日	昭和62年(1987年)4月1日
建物・工作物の取得価額	1,969,510 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,169,705 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率		1.0	0.7	0.7	0.0
施設老朽化比率		55.1	57.5	59.4	1.9
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.5	99.0	99.2	0.2
経常費用対公共資産比率		8.5	8.5	9.5	1.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費45,152千円(24.2%)、物件費 66,478千円(35.6%)、維持補修費 13,472千円(7.2%)、減価償却費 46,598千円(24.9%)となっています。物件費の主な内訳としては、保安・清掃・警備業務委託料 39,066千円、需用費(光熱水費 13,052千円 消耗品費 2,779千円など)となっています。

施設老朽化比率は59.4%で昨年と比較して老朽化が進行しています。施設維持補修費比率は昨年度と同率の0.7%となっています。

経常収入につきましては、その他収入として、行政財産目的外使用に伴う光熱水費等が1,180千円などとなっています。費用の99.2%が税金などの一般財源でまかなわれている事業です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設は昭和62年(1987年)に建設され、30年以上が経過しています。平成29年度は自動火災報知設備取替修繕、減圧水槽取替修繕など、平成30年度は温水ヒーター改修工事、駐車場区画線改修工事、玄関庇屋根防水改修工事など経年劣化による修繕をしました。また、台風による被害により、屋上広場パネル及び屋上格屋被書箇所修繕を行いました。

今後は老朽化した会館の維持補修を計画的に行い、優先順位を検討したうえで、利用者に安心・安全に利用してもらえる事業運営に努める必要があると考えられます。